

県立武道館建設事業

スポーツ課

1 事業目的（「県立武道館基本構想」から）

武道館の整備に当たっては、本県の地理的特性など強みを活かして、県民本位の利用としながら県外の方にも積極的に利用していただけることを念頭に、武道に適した施設とすることを基本としつつ、武道以外の活動やイベント等にも活用できるよう、利便性の高い施設を目指す。

（1）本県の武道振興の中核的拠点となる施設

北信越レベル以上の大会が開催可能な規模、武道の特性を踏まえ安全等に配慮した床を整備 等

（2）多目的に利用できる「選ばれる」施設

武道以外の活動にも幅広く活用できるような仕様に配慮、災害時に避難や支援物資収集などにも活用できるよう配慮 等

（3）県民に愛され末永く使われる施設

誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮、障がい者がスポーツに親しめる環境を整備、維持管理費を節減 等

（4）環境・景観に配慮した施設

周辺地域の環境との調和・植樹等による緑化に配慮、必要エネルギーの最小化を図った上でエネルギー供給設備の効率化・自然エネルギーの導入を検討

2 事業内容

【施設の概要】

機能	規模等
主道場（板張り）	競技面積2,000㎡程度（柔・剣道場6面可能） 観客席1,500席程度
道場（畳敷き）	柔道場3面程度 観客席200席程度
道場（板張り）	剣道場3面程度 観客席200席程度
その他	会議室、器具庫、シャワー室、エレベーター 等

[延床面積：12,300㎡程度]

【スケジュール】

2019年度中の供用開始を目指す

区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
設計		■		
建設工事			■	■

3 平成30年度予算額 11億6839万2千円

建設工事、工事監理等委託、各種調査委託等